

## 第2回 中東遠地域豪雨災害減災協議会 議事要旨

日時：平成30年2月9日（金） 15:00～16:30

会場：袋井土木事務所 3階大会議室

出席者：構成員 磐田市危機管理監（市長代理）・袋井市副市長（市長代理）・掛川市長・  
菊川市長・御前崎市副市長（市長代理）・森町副町長（町長代理）・  
静岡地方気象台長・浜松河川国道事務所副所長（所長代理）・  
危機管理部理事（防災対策担当）・危機管理局局長・  
交通基盤部河川砂防局長・袋井土木事務所長  
事務局 交通基盤部河川砂防局河川企画課・土木防災課・袋井土木事務所・  
危機管理部危機対策課・西部危機管理局

### 1. 挨拶

### 2. 議事

- (1) 中東遠地域豪雨災害減災協議会規約の改正
- (2) これまでの経過及び決定事項
- (3) 中東遠地域の減災に係る取組方針（案）
- (4) 情報提供
- (5) 今後のスケジュール

### 3. 議事概要

- (1) 豪雨災害減災協議会規約の改正について  
豪雨災害減災協議会設立の背景、目的を設立趣意書により説明。規約の改正について確認し、承認を得た。
- (2) これまでの経過及び決定事項について説明
- (3) 中東遠地域の減災に係る取組方針（案）について説明  
今後5年間で達成すべき減災目標の達成に向けた取組方針（案）について説明し、承認を得た。
- (4) 静岡地方気象台より、防災支援の強化について情報提供頂いた。
- (5) 豪雨災害減災協議会の今後のスケジュールについて説明

### 【出席者の主な発言内容】

- ・ 新たに水位計や監視カメラを設置する河川について、設置箇所は周辺住民の望む箇所へ設置するなど、住民の声を反映するようにはしていただきたい。

- 避難判断水位や氾濫警戒水位について、見直しをしていただきたい。発表されている水位と現場の状況で相違がある箇所があるため、周辺住民の混乱を招いている。
- 市民の高齢化が進んでおり、いざという時に避難行動に移れない住民も多い。課題に、高齢者の避難を助けるような記載を追加していただきたい。
- 河川内の植生の繁茂や土砂堆積により河川氾濫の危険性が高くなっている河川も多くある。除草や掘削といった維持管理は基本的に各河川管理者が行うものと思うが、管理者の枠を超えて柔軟な維持管理を行えるようになれば効率的な維持管理が行えるようになるため、ご検討いただきたい。
- 太田川、原野谷川の上流部で心配なところがあるので、調査して水位計を設置してほしい。
- 浸水想定区域図やハザードマップの作成について最大クラスの外力が対象となった。避難場所などに関して混乱が出る可能性があるため、作成にあたり、市民が判断できるように検討して指示してほしい。